



放射能の不安にごたえる

平正三の3つの提案

日本共産党

いまだに、収束のめどがたない福島第一原発事故。高萩市のキノコからも基準値を超える放射性物質が検出されました。子どもたちへの影響や風評による農畜産物の価格の低下も懸念されます。

日本共産党の平正三議員は、原発事故から市民のいのちと暮らしを守るため力をつくします。

原発による損害は、 東京電力に全面賠償させます



「昨年は、口蹄疫で騒がれて牛の値が下がり、今年は原発事故。何のためにがんばってきたのかわからない」…ある肉牛農家の怒りの声です。高萩海水浴場の来客数は昨年の1割以下。原発事故とその風評被害による高萩の地域経済にあたる影響は深刻です。

私は、原発事故による、あらゆる損害の全面賠償を東京電力に求めて、市民の暮らしを守ります。

測定を徹底し、迅速な除染をおこない 放射能の危険から子どもたちを守ります

「子どもたちは大丈夫なのだろうか」「給食が心配なので弁当を持たせている」…子と思う親の気持ちは複雑です。市は政府の基準にしたがって、毎時1マイクロシーベルトを超えた学校敷地内の除染などをおこなっています。

私は、子どもの安全をよりいっそう守るために、となりの北茨城市が除染実施の基準にしている学校(毎時0.19マイクロシーベルト)、公園(0.28マイクロシーベルト)のように、より厳しい数値での除染を市に求めて、子どもたちの健康を守ります。

「原発ゼロ 自然エネルギー」への転換を — 東海第二原発は廃炉に —

「事故が起きたら取り返しつかない事態になる」…今回の事故で国民は痛感し、原発からの撤退も大きな世論になりつつあります。

高萩市から約25キロ先にある東海第二原発もあと少し津波が大きかったら、福島第一原発と同じような深刻な事故になるところでした。運転開始から32年経過した老朽原発の再稼働を許さず、廃炉を求めます。

私は、計画的に原発から風力・水力・太陽光などの再生可能な自然エネルギーに転換し、「原発ゼロ」の社会をめざします。



放射能汚染から 市民のいのちと暮らしを守る

平正三議員の質問から

9月2日から21日まで開かれた市議会の一般質問で、日本共産党の平正三議員は、安全で住みよい高萩をめざして、①放射能対策 ②太陽光発電設置の助成 ③デマンドタクシーについて質問しました。

子どもたちの学校、幼稚園・保育園の除染



平正三議員は「福島第一原発事故による放射能汚染が心配です。子どもが通う学校・幼稚園・保育園等のホットスポットといわれる側溝、雨どいの下、芝生、通学・通園路の放射線の測定はおこなっているのか」と質問。

副市長は「学校内の除染の要否判断とした毎時1マイクロシーベルト以上の7施設19カ所(表参照・主に雨どいの排水溝付近)で表土の除去をしている。通学路の測定は現在実施している」と答弁。

平議員は、「常総市は毎時0・19マイクロシーベルトで実施している。市の毎時1マイクロシーベルトは非常に高い数値であり、常総市のようにすべきである」と、つよく迫りました。

除染した7施設

小学校	2校
中学校	2校
幼稚園	2園
保育園	1園

公園の測定状況、学校等への測定器配置



平議員は「市内の公園やちびっこ広場での放射線測定を実施しているのか。小中学校・幼稚園・保育園への放射線測定器の配置や活用はどうか」と質問。

副市長は「市内29カ所の公園と子どもの広場6カ所で測定したところ、すべて1マイクロシーベルト以下であった。測定器はすべての学校・幼稚園・保育園に配置され、各施設では日々測定をおこなっている。結果を掲示して保護者に周知している」と答弁。

平議員は「すべての公園の測定結果は公表すべき」と求めました。

農産物や学校給食の放射能測定も質問



平議員は、内部被曝を心配する市民から健康調査や体内被曝量の検査の要望があった場合の対応、市内農産物や学校給食への放射能測定について、さらに放射線測定器の市民への貸し出し等々についても質問。放射能汚染から子どもと市民のいのちと健康を守る対策の充実を求めました。

住宅用の太陽光発電設置に助成をデマンドタクシーの実現を

平議員は、「原発から再生可能な自然エネルギーへの転換が求められる。住宅用太陽光発電システム設置に市として助成すべき」と質問。市民生活部長は「財政状況などを総合的に判断して考えたい」と答弁。

また、「デマンドタクシー(乗合タクシー)は高齢者や障害者が自宅から目的地まで低料金で行ける制度で、各地で実施され大変喜ばれている。高萩市でも実施すべき」と質問。経営戦略部長は「引き続き調査研究を進めていきたい」と答えました。

防災無線の充実で安心・安全な高萩を



東日本大震災で、市の情報が伝わらないという苦情が殺到しました。9月議会の補正予算で、駅東地区に16基の屋外防災無線を設置することになりました。平議員は、さらに戸別受信機を設置し、充実をはかるとともに、駅西地区、全市の防災無線の整備を求めています。



安心して住みよい高萩をつくるために